

No.3 絵の一部が浮き上がってくるように 見せる技術

～影の印象を投影することで浮かび上がってくる印象を与える～

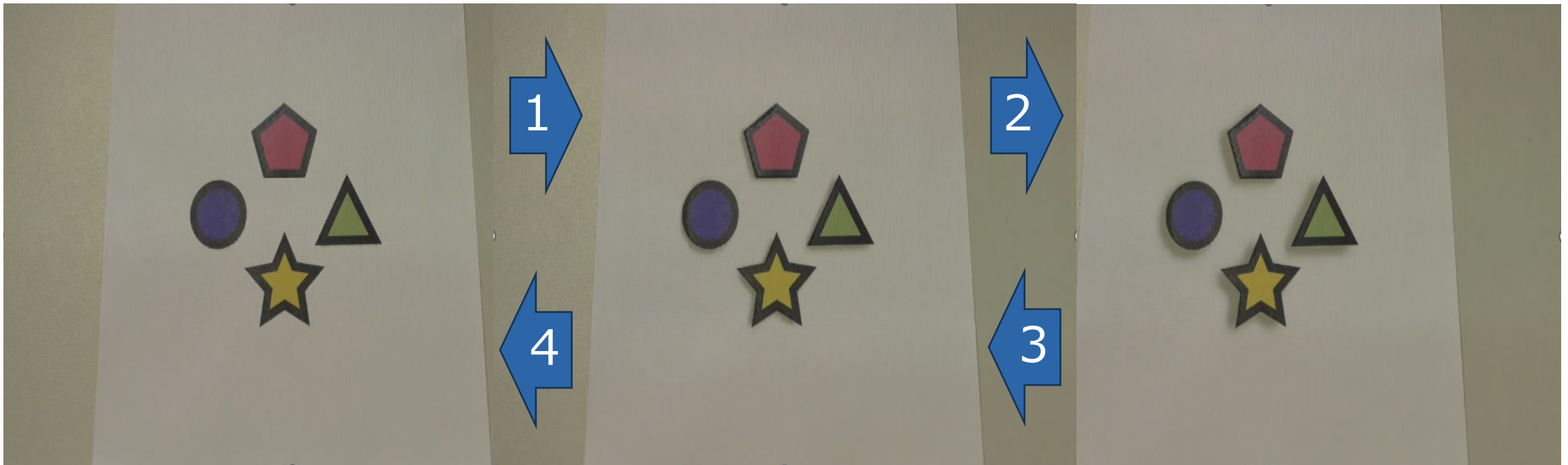
特許第7010122号
米国特許取得済

■ 実現できること

静止画だったはずが、目立たせたい一部分だけ浮き上がって見える視覚効果を生み出します。

■ 実現例

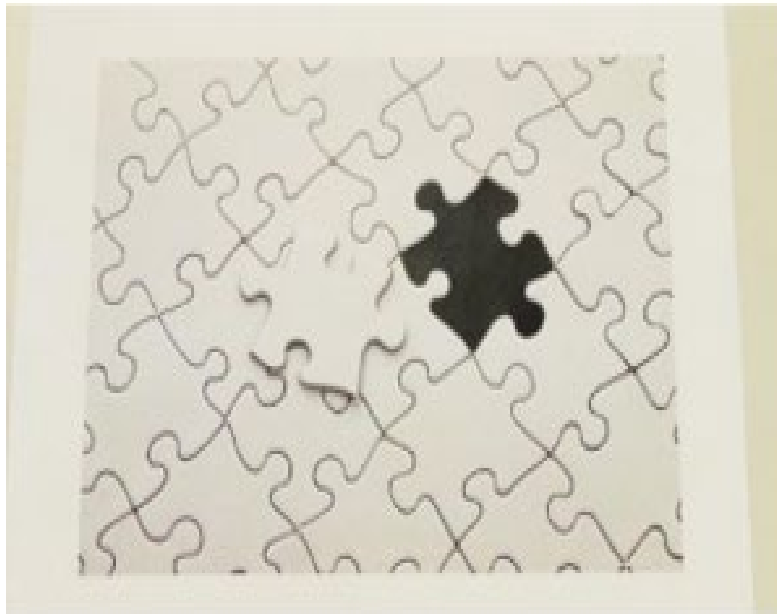
プロジェクタなどの投影装置を用いて、浮かび上がらせたい対象の影のパターンを対象に重畳し、動画にして連続再生することで、対象が浮かび上がったり元に戻ったりする錯覚が生じます。



■ 仕組み

平面の絵であっても、影のパターンが加わることで 脳が影の動き情報と対象の色・形情報を統合して知覚し、影のパターンが加えられた部分が浮かび上がったと錯覚します。

①印刷した対象に対して



②影パターンを投影すると



③影パターンの効果により、印刷された対象
(ここではパズルの形をした暗い空間)が
浮いて見えます



■ 利用イメージ

プロジェクターで影を映し出して、伝えたいメッセージや商品を飛び出して見せるなど

- ・ 街頭広告やポスターへの応用
- ・ 紙製品（店内メニュー表、会場展示や案内、子供たちの自由作画）への応用

影パタンのつけ方で、質感も変化させられます。

オリジナル画像



透明感をもつように影をつけた印刷物



透明感をもたないように影をつけた印刷物



取り込んだ画像から移動領域、移動量、移動方向、フレーム数を決めて、ぼやかした移動領域から影部分（影パタン）を抽出して投影します。
あらかじめプログラム化しておくことも可能です。